

論文審査の結果の要旨

2024 年 2 月 8 日

学位論文題目 eGFRcre が過大評価となる臨床的特徴の解明およびシスタチン C 測定特定ツール (OE スコア) の開発

学位申請者 石 郷 友 之

審査委員 主 査 戸 田 貴 大 

副 査 江 川 祥 子 

副 査 山 田 武 宏 

血清クレアチニン値 (SCr) は筋肉量の影響を受けるため、長期臥床を伴う炎症性疾患や寝たきりの高齢者では SCr が低値となり、SCr に基づく推算糸球体濾過量 (eGFRcre) では腎機能を過大評価するリスクがある。一方、重症感染症や外傷などでカテコラミンや補液を使用した際には、通常よりも腎機能が亢進した過大腎クリアランス (ARC) がしばしば見られる。

近年、シスタチン C (Cys-C) による推算糸球体濾過量 (eGFRcys) が、ARC をよりよく評価できること、高齢者や筋力低下のある患者において腎機能の過大評価を防ぐ可能性のあることが示されている。したがって、eGFRcys による腎機能評価が必要な患者を特定するツールの開発は、日常診療において有用である。

本研究では、心不全患者において eGFRcre と eGFRcys を比較することで Cys-C の測定が有用な症例を調査し、その結果を基に、eGFRcys による腎機能評価が必要な患者を特定するための、(1) 体重、(2) ヘモグロビン濃度、(3) 尿素窒素 (BUN) / SCr で構成される Cys-C 測定特定ツール (OE スコア) を開発した。さらにこのスコアが、心血管疾患や腎疾患、およびそれらのリスクファクターを有する高齢者にも適応可能であることを示した。

今後、本スコアを臨床現場での Cys-C 測定の判断に用いることで適切な腎機能評価が可能となり、より安全かつ有効な薬物療法の提供が期待できる。以上のことから、本論文は本学の博士論文として評価に値するものと認定した。

2024 年 2 月 8 日

北海道科学大学大学院

薬学 研究科 長 殿

審査委員

主 査 戸 田 貴 大



副 査 江 川 祥 子



副 査 山 田 武 宏



学位論文審査、試験及び学力確認報告書

学位申請者 石 郷 友 之

上記の者提出の学位論文の審査、試験及び学力の確認を実施した結果、
合格と認定しましたので、論文審査の結果の要旨、試験及び学力確認の結果
の要旨を添えて報告いたします。

試験の結果の要旨

2024 年 2 月 8 日

学位申請者 石 郷 友 之



審査委員	主 査	戸 田 貴 大	
	副 査	江 川 祥 子	
	副 査	山 田 武 宏	

学位論文を中心とした関連科目についての試験を行った結果、合格と認定した。

学 力 確 認 の 結 果 の 要 旨

2024 年 2 月 8 日

学位申請者 石 郷 友 之

審査委員	主 査	戸 田 貴 大	
	副 査	江 川 祥 子	
	副 査	山 田 武 宏	

試問により英語学力を含む学力確認を行った結果、博士課程を修了したもの
と同等以上の学力を有すると認定した。

2024 年 2 月 8 日

審査委員主査
戸 田 貴 大 殿

審査委員 江 川 祥 子



学位論文審査、試験及び学力確認報告書

学位申請者 石 郷 友 之

上記の者提出の学位論文の審査、試験及び学力確認を実施した結果、合格と認定しましたので報告いたします。

学位論文 題 目	eGFRcre が過大評価となる臨床的特徴の解明およびシスタチン C 測定 特定ツール (OE スコア) の開発		
学位論文審査報告		判 定	合 格
結果の要旨 学位論文審査の結果、本論文は本学の博士論文として相応しいものと認定した。			
試 験 報 告		判 定	合 格
結果の要旨 学位論文を中心とした関連科目についての試験を行った結果、合格と認定した。			
学 力 確 認 報 告		判 定	合 格
結果の要旨 試問により英語学力を含む学力確認を行った結果、博士課程を修了した者と同等以上の 学力を有すると認定した。			

2024 年 2 月 8 日

審査委員主査
戸 田 貴 大 殿

審査委員 山 田 武 宏 

学位論文審査、試験及び学力確認報告書

学位申請者 石 郷 友 之

上記の者提出の学位論文の審査、試験及び学力確認を実施した結果、合格と認定しましたので報告いたします。

学位論文 題 目	eGFRcre が過大評価となる臨床的特徴の解明およびシスタチン C 測定 特定ツール (OE スコア) の開発		
学位論文審査報告		判 定	合 格
結果の要旨 学位論文審査の結果、本論文は本学の博士論文として相応しいものと認定した。			
試 験 報 告		判 定	合 格
結果の要旨 学位論文を中心とした関連科目についての試験を行った結果、合格と認定した。			
学 力 確 認 報 告		判 定	合 格
結果の要旨 試問により英語学力を含む学力確認を行った結果、博士課程を修了した者と同等以上の 学力を有すると認定した。			